



札内中学校

職業講話を取材

2月9日、札内中学校の1年生が、町内などの事業所から職員を招き、仕事の内容や社会人としてのマナーなどを話してもらった職業講話を行いました。生徒たちは希望する職業の講話を聞き、将来を考えました。

札内中学校では、身近な職業を知る学習を通して、地域との関わりや将来について考える職業学習を、総合的な学習の時間で行っています。

旅行会社やサービス業、役場、



警察など10業種が前後半に分かれ、講話を行いました。

生徒たちは事前学習として、希望する職業について、図書やインターネットを活用し、質問する内容など学習を進めていました。

今後は、2年生時に町内などの事業所や店舗で、仕事を肌で感じてもらった職業体験学習を行い、3年生時には、卒業後の進路や将来について考えさせる調査学習など予定しています。

新聞記者と看護師の講話を聞いて



た三浦静香さん(B組)は「仕事では、コミュニケーションや信頼関係が必要。仕事をする人は、人の役に立つという考えを持つことが大事だと感じた」と話していました。また、介護士と役場職員の講話を聞いた笠原あかりさん(E組)は「職業がたくさんあることに驚いた。どの職業でも仕事をすることは大変なことだと感じた」と話していました。



①元看護師の宮本久子さんにお礼の言葉を述べる中村朱里さん②生徒の質問に耳を傾ける十勝三菱自動車の北原信一さん③お笑い芸人を目指したこともあるNKインターナショナルの木田直樹さん